

明日を担う

～女性医師座談会～

当院の女性医師にワークライフバランスを語っていただきました。



A医師 長崎大学病院のメディカル・ワークライフバランスセンターが、県内病院へ活動エリアを広げるにあたり、当院のワークライフバランス推進員を務めるよう江崎院長から命ぜられました。しかし実のところ、外科系以外の女性医師との接点がありません、現状把握も難しい状態で、十分な活動ができていません。内科系の先生のなかでも一緒に活動できるような先生がいればなと考えています。今日は各科の先生方とざっくばらんにお話できたらと思います。

A医師 長崎大学出身で、現在30年目です。大学卒業後医師になると同時に結婚、子供も授かりました。長崎大学に10年、長崎医療センターに20年と長く勤務しています。以前は毎日長崎の家から通っていましたが、現在は大村と長崎を半々で生活しています。

B医師 医師13年目です。長崎医療センターで初期研修し、肝臓内科を志しました。後期研修は東京医療センターで行い、帰ってきて長崎医療センターに就職しました。医師4年目に結婚、現在年長と小学2年生の子供がいます。子供が小さい頃は働き方も制限され、9時～17時で当直免除の勤務をしていましたが、今年度から常勤として勤務しています。常勤で子供二人を育てるのは難しいと考え、義理の両親と同居し手伝ってもらっています。自分の人生としては再スタートだと思い、頑張りたいなと思っています。

C医師 医師9年目です。長崎医療センターで初期研修を経て、ドクターヘリに乗りたくて救急科を志望し、長崎医療センターに就職しました。その後結婚、出産し、現在4歳の子供がいます。現在は日勤帯での勤務形態で当直は免除してもらっています。救急科はシフト制なので

働きやすい形態です。両親は近くに住んでいないので、土日はできるだけ自分たちで子供をみて、仕事と育児の両立ができるようにと頑張っています。

D医師 医師3年目です。総合診療科に興味があり、家庭医を志して初期研修からお世話になっています。ライフイベントはまだないのですが、総合診療科の専門医をとる上で、へき地病院での勤務義務化が結婚等によりどうなるかと不安を抱える同僚もいて、自分も今後どうなるかなという思いはあります。

B医師 総合診療科はチーム制ですよ。

D医師 現在3チームで活動しています。チームで患者さんを診ているので、土日も交代でお休みがとれます。当科では育休をとった男性医師もいて、ライフイベントに応じた働き方改革をしてくれており、とても働きやすい環境だなと感じています。

B医師 私の所属科もチーム制を検討したことがありますが難しく、今も主治医制です。主治医制は24時間拘束で正直苦しいこともあります。診療のすべてを主治医の責任とするという考えは、今後変える必要もあるのではないかと感じています。

A医師 妊婦や育児短時間勤務の人をみんなで、笑顔で支えられるかは、組織に余裕があるかどうかではないかと思っています。組織に余裕がないと本人も言いづらい、周りもつらくなる悪いサイクルになると思います。若干でもマンパワーの余裕が組織には必要だと思います。

長崎大学のワークライフバランスセンターは育休後の復職に力をいれて、復職は増えたのですが、時短勤務者が

多くなり、当直がしやすい環境のサポートが次の課題になっているみたいです。

B医師 夜呼ばれないためにレジデントを選択しているのに、夜も働けるようにとの要望は難しいところもありますね。常勤医師とレジデントの待遇差も大きいですし、課題はたくさんあるのではないかと思います。

A医師 女性医師が常勤や役職につくかに際し出産という天井があると聞いたことがあります。次のステップに進むためにも、出産後も夜働けるスキルをキープしていくことが大事なのではないかと思います。

C医師 最近は少なくなりましたが子供が小さい頃はよく発熱等で保育園から呼ばれていました。B先生もよく保育園に呼ばれていましたか？

B医師 子供が小さい頃は頻繁に呼ばれていました。でも同僚の多くがお子さんをお持ちだったので、温かく受け入れてくれました。心苦しい思いはありましたが、働けるときはできるかぎり頑張るというスタンスで割り切って働いていましたね。

A医師 たしか長崎大学は病児保育がありましたよね。長崎医療センターも需要があると思うのですがどね。子育て中の看護師さんも多いと思いますし。

B医師 以前病児保育立ち上げの機会があり、私もその委員をしていました。仕組み等も決まりかけていたのですが、人員配置等の問題があり、まだ実現はしていないようです。

A医師 長崎大学のあじさいプロジェクトにはマタニティー白衣貸し出しや保育サポートシステムもあり、大村も対象地域です。長崎市内では活用している人が増えていると聞いています。保育園の送り迎えや病気のときの見守り等もサポートしてくれるはずですよ。ぜひ“あじさいプロジェクト”を検索していただいてメルマガ登録をしていただけたら嬉しいです。両立、キャリアサポートに関する情報が入手できます。

女性が働きやすくなるということは、男性も働きやすくなることにつながるのではないかと思います。生き方や働き方は多様であることを認め合っていけるような社会であってほしいです。



あじさいプロジェクトは、長崎県全域を対象に医師が仕事と生活の両立を実現するための支援とその環境整備を推進するプロジェクトです。メディカル・ワークライフバランスセンター（H24年長崎大学病院内に開設）が中心となり、関係機関と連携してプロジェクトをすすめます。

主な取り組みであるキャリアサポートでは、医師としてのキャリアの継続・復帰支援のためのコンサルティング、復職トレーニングのほか、キャリア

アップを目指した企画を行っています。また、ホームページでさまざまな支援情報・イベント情報を発信。そのほか、県内のより多くの医療機関で仕事と生活の両立が可能な就労環境を整備していただくように働きかけています。

あじさいプロジェクトの活動を通して、両立の励みになるような情報や開催イベントを定期的にお届けいたします。メルマガ登録募集中です！

